

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 クリーンバーフィネス豊岡ミッドステージ ウェスト

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D	評価点	重み係数	評価点	重み係数						
<b>Q 建築物の環境品質</b>														
<b>Q1 室内環境</b>														
<b>1 音環境</b>														
1.1 騒音														
1.2 遮音														
1 開口部遮音性能														
2 界壁遮音性能														
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)														
4 界床遮音性能(重量衝撃源)														
1.3 吸音														
<b>2 温熱環境</b>														
2.1 室温制御														
1 室温														
2 外皮性能														
3 ゾーン別制御性														
2.2 湿度制御														
2.3 空調方式														
<b>3 光・視環境</b>														
3.1 昼光利用														
1 昼光率														
2 方位別開口														
3 昼光利用設備														
3.2 グレア対策														
1 昼光制御														
2 眩り及び対策														
3.3 照度														
3.4 照明制御														
<b>4 空気質環境</b>														
4.1 発生源対策														
1 化学汚染物質														
2 浮遊粒子状物質														
4.2 換気														
1 換気量														
2 自然換気性能														
3 取り入れ外気への配慮														
4.3 運用管理														
1 CO <sub>2</sub> の監視														
2 喫煙の制御														
<b>Q2 サービス性能</b>														
<b>1 機能性</b>														
1.1 機能性・使いやすさ														
1 広さ・収納性														
2 高度情報通信設備対応														
3 バリアフリー計画														
1.2 心理性・快適性														
1 広さ感・景観														
2 リフレッシュスペース														
3 内装計画														
1.3 維持管理														
1 維持管理に配慮した設計														
2 維持管理用機能の確保														
3 衛生管理業務														
<b>2 耐用性・信頼性</b>														
2.1 耐震・免震														
1 耐震性														
2 免震・制振性能														
2.2 部品・部材の耐用年数														
1 躯体材料の耐用年数														
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔														
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔														
4 空調換気ダクトの更新必要間隔														
5 空調・給排水配管の更新必要間隔														
6 主要設備機器の更新必要間隔														
2.4 信頼性														
1 空調・換気設備														
2 給排水・衛生設備														
3 電気設備														
4 機械・配管支持方法														
5 通信・情報設備														
<b>3 対応性・更新性</b>														
3.1 空間のゆとり														
1 階高のゆとり														
2 空間の形状・自由さ														
3.2 荷重のゆとり														
3.3 設備の更新性														
1 空調配管の更新性														
2 給排水管の更新性														
3 電気配線の更新性														
4 通信配線の更新性														
5 設備機器の更新性														
6 バックアップスペースの確保														

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 クリーンリバーフィネス 第Ⅱ段階 ミッドステージ ウエスト

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>										
1 生物環境の保全と創出			C			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			C		上階のバルコニー手摺は透明ガラスやアルミ格子などの軽量感のある素材を使用し、圧迫感を軽減している。	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			3.0	0.50	-	-	
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>										
<b>LR1 エネルギー</b>										
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				日本住宅性能評定基準の一次エネルギー消費量等級5を満たしている。	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	A					3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.92	4.7	0.50	-	-	4.7
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A					4.7	-	-	-	
集合住宅の評価(3c)	A				低炭素建築物新築等計画認定を取得している。	4.7	1.00	-	-	
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						3.0	-	-	-	
4.1 モニタリング	A					3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	-	-	-	
集合住宅の評価						3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	
<b>LR2 資源・マテリアル</b>										
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	2.9
1.1 節水					節水型器具を使用している。	4.0	0.40	-	-	3.4
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減						2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み		B			乾式間仕切、断熱材のウレタン吹付等、分別が比較的容易である。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避						3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避						4.0	0.70	-	-	
1 消火剤		B			ハロン消火剤を一切使用していない。	4.0	0.50	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		B			ODP=0、GWP<10の断熱材を使用している。	4.0	0.50	-	-	
3 冷媒		B				-	-	-	-	
<b>LR3 敷地外環境</b>										
1 地球温暖化への配慮		B			LCCO2排出率が72%である。	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮						3.1	0.33	-	-	3.1
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.5	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		B				3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制					十分な駐車スペースを確保している。	4.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D	棟内ゴミステーションによる十分なスペースの確保。	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮						3.3	0.33	-	-	3.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	
1 騒音						3.0	1.00	-	-	
2 振動						-	-	-	-	
3 悪臭						-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制						3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制						3.0	-	-	-	
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制						4.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					「光害対策ガイドライン」のチェックリスト項目の過半を満たしている。	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策					バルコニーの設置によりグレアの抑制を行っている。	4.0	0.30	-	-	